大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 十月十五日(日)

關税改正建議

新京商工會議所議員會から 當局に要望の内容(二)

五、洋傘(税番六〇八)

洋傘は中華民國か天津上海方面に於ける自國製造業を保護するため民國十九年の關税改正に於て約五割の増率をけひたるものにして一柄につき綿張りのものは一圓二五、絹張のものは二圓七二に當り原價に對し夫々五割以上の重税となれり滿洲國に於ては未だ斯業の見るべきものなく關税保護圏内に入るには遠き將來のことに屬するが故に一割程度に引下ぐるの要あり

六、骨製品及毛製品(税番五三五及五三八)

各種(ブラッシュ)類は原料を支那滿洲に産する爲め中華民國は民國十九年關税改正に於てこの種産業の勃興を圖るため五割以上の増率を行ひたるものなるが滿洲國内に於ては未だ此の種工業の發達は微々たるものにして需要の大部分は日本品に俟つの状態にあり、而も「ブラッシュ」類は歯磨用刷子等の衛生用品を始めとし靴刷子其の他日常生活用品が大部分を占むるが故に現行二割の重税より五分程度に引下ぐることを要す

七、扇子、團扇(税番六〇七)

中華民國は民國十九年の關税改正に於て日本品を壓迫し自國産業の發達を圖るため十割以上の増率を行ひたるものにして紙製扇子は千本につき三五圓一〇となり即ち一本につき三錢五厘となり原價一本二、三錢のものにつき三錢五厘の課税は夏期日用必要品としての扇子としては堪へ得られざる重税と稱すべく滿洲國内に於ける斯業未だ見るべきもののなく保護圏内に入るには遠き將來のことに屬するが故に國民負擔の輕減を圖るため從價一割程度に引下ぐることを必要とす

團扇は之に該當する税番なきため税番六〇七扇の(二)或は(へ)を適用せられ(二)に依るときは千本三五圓一〇(へ)に依るときは從價二割にて當業者は或る時は(二)を或るときは(へ)を適用せられ採算に困難を感じ居れり、團扇は扇子と等しく夏期日用必需品なれば同に税率を設定し從價一割程度に引下ぐるの要あり

八、飲料水(税番三八三)

滿洲國に於ては飲料水は極めて少量の生産を見つゝあるも大部分は日本より輸入せられ以前は贅澤品の如き感ありしも今日に於ては夏期に於ける一般民衆の常用飲料となれり滿洲國に於ては斯業は未だ發達せず保護關税を實施するの要なし現行一箱四打入二圓七〇の關税は原價の五割以上に當るが故に一般需要者の負擔を輕減するため從價一割程度に引下ぐるの要あり

九、茶(税番二九九)

綠茶は本邦人に採りて缺くべからざるものなるも民國十九年の關税改正に於て日本品に抵制を加へる目的にて從來一率に一割五分のものを紅茶一割に引下げ綠茶を三割に引上げしものにて滿洲人には紅茶綠茶とも需要少なく紅茶綠茶の區別を設くるは日本以外の外國品を優遇するの結果となるが故に今日の狀勢より見るときは斯かる不合理は速かに撤廢すべきものにして一率に從價一割に引下ぐることを要す

十、靴下(税番六二〇(イ)の二)

靴下は民國十九年の關税改正に於て日本品壓迫のため約十割の増率を行ひたるものにして滿洲國の今次の改正に於ては(イ)項(二)の瓦斯糸又は「マーセライズ」糸ならざるものとみ税率擔六十六圓より卅九圓に引下げられたるも現在滿洲國に輸入せらるゝ靴下は(イ)項(二)の瓦斯糸又は「マーセライズ」糸にて製したるものが大部分を占めしかも國内生産に乏しく使用原糸及加工工程より觀察して滿洲國内生産品は輸入品を防遏すること到底不可能の狀態にあるが故に國民負擔の輕減を圖るため現行の擔八十七圓七十五錢を從價一割五分程度に引下けを要望す

著しい躍進の 九月中對滿支貿易

二千五百萬圓の出超

(東京十四日發國通)大藏省發表に依れば九月中に於ける對滿洲、關東州、中華民國及び香港貿易概算は左の如くである(單位千圓)

輸出 四三、八一七
輸入 一九、〇四七
合計 六二、八六三

即ち差引二千四百七十七萬一千圓の出超となつて居り、之を前年同期に比すれば輸出は一千五百六十四萬二千圓、輸入は六百七十萬三千圓を夫々増加して輸出入合計に於ては二千二百三十四萬五千圓の増加となる併して一月以降の出超額一億一千六百七十二萬九千圓にして前年同期の出超六千七萬三千圓に比し五千六百六十五萬六千圓の出超増加となつてゐる

ブロンソン レー氏

華府に着く

英京ロンドンに於ける外交部顧問エドワーズ氏の活躍に呼應し米國民に呼びかくべく同外交部顧問ブロンソン、レー氏も既にワシントンに到着直ちにシオーラムホテルに事務所を開設し滿洲國內事情の全般に亘り紹介、斡旋の活動を開始した旨この程外交部に入電あつた

北鐵運賃の引下げ決議文

十六日當局に手交

(ハルビン十四日發國通)去る十月三、四兩日の第十七回全滿商議聯合大會にて北滿鐵道の運賃引下げ問題並びに運賃の國幣建問題が滿場一致を以つて可決されたる事は既報の如くであるが來る十六日右運賃引下決議文を加盟第十七回全滿商議聯合會員の名に於て北鐵要路者に手交することゝなつた、決議文は左の通りである

決議文

貴鐵路の高率運賃と盧金留本位制が北滿産業經濟の發展を阻害することの甚大なるは今更贅言を要すの要なし、貴局は自己の利益のみを念ひ、北滿一千五百萬民衆の窮狀に對し一顧を與へず、去る五月以來全滿各種經濟團體の數回に亘る要望を默殺して改むるところなし之畢竟北滿全住民を侮辱するものと謂はざるべからず

茲に第十七回全滿日本商工會議所聯合會の決議を以て運賃の低減と盧金留本位制撤廢を及要望候也

吉林共產黨一味

十二名の判決

(吉林十四日發國通)吉林共產黨一味に對する吉林高等法院の判決は九月十八日左の如く確定、昨日解禁と同時に發表さる

有期徒刑十年 金　昆(一九)
同 八年 呂　紋(二七)
同 常家椿(二一)
五年 馮毓生(二三)
同 張嘉珍(一八)
同 王誠忠(二三)
同 張春榮(二〇)
同 張其義(一九)
同 于　濬(二四)
猶豫刑三年 王家祥(一八)
同 郭連效(一七)

大連港輸出入貿易

(大連十四日發國通)大連港輸出入貿易額は、八月中

輸出 一九、四六三、一五七圓
輸入 三四、七七九、六二五圓
入超 一五、三一六、四六八圓

で前年同期に比して著しい膨張振りを示して居る、更に之を各國別に見れば日本が壓倒的に主位を占め

輸出 六一、一六五、二七五圓
輸入 二五、七六六、一二八圓

で輸入品の主なるものは綿糸布、同製品、雜貨、建築材料等で特に建築材料等は先月全般的に關税率引下げと共に激増の一途を辿つて居る

對外爲替

(東京十四日發國通)對米廿六弗八分ノ七賣、廿七弗丁度買、對英一志二片十六分ノ三賣、四分ノ一買

珠玉を碎く(百四十三)

吉井勇

(高根秀浩畫)

最後の舞臺(八)

いよ／＼二月興行の初日が來た。その前の晩は舞臺稽古で、露子は殆ど徹夜をしてしまつたので、揺られてゆく俥の中でも、何だか頭が重くつてならなかつた。起きた時に何となく體がだるかつたので檢温器で量つて見ると、熱が三十八度近くあつたが今日が初日だと思ふと、休む譯にも行かないのでそのまゝ無理押をして、俥に乘つて出懸けたのだつた。

露子は自分の出る印度舞踊の『婆耆舍』が第三に据ゑられてゐるので、もつとゆつくり家を出懸けてもいゝのだつたが、しかし初日でいろ／＼樂屋內の附け屆けや何かのこともあつたし、一度は最初から見て置きたかつたので、第一の『長崎物語り』の幕が開くのに間に合ふやうに俥を呼ばせた。

だから露子が樂屋の自分の部屋の鏡臺の前に坐つた時には、丁度序幕の幕開き前の廻りの柝の音が聞えてゐた。

露子は鈴子と相部屋だつたが、鈴子は第一の『長崎物語り』に舞臺附きに出てゐるので、もう舞臺の方に行つてゐるものと見えて、そこには姿が見えなかつた。附いて來てゐる男衆代りの女中が、脱ぎ棄てたまゝになつてゐる鈴子の着物や持物を片附けてゐた。

『鈴子さんもう舞臺……』

さういつて訊くと、その女中は始めて氣が付いたやうに頭を下げて、

『あ、いらつしやいまし。えゝ、唯今舞臺へまゐりました』

と、しとやかに返事をした。

露子も自分の使つてゐる女中に手傳はせながら、まだ運び込んだまゝになつてゐる鏡臺や何かを整理してから、不圖意味のよく解らない箇所があつたのを思ひ出して、

『あのね、松本先生が來ていらつしやるか何うか見ておいで……』

とさりげない調子で言付けた。

そして自分は鏡臺の前の香の間を染た紫縮緬の座布團の上に坐つて、もう一度讀み返すやうに書拔きを開いた。が、かの女の臺詞がうまく入つて來なかつた。

『さあ、あたしの目を見て御覽なさい。あたしの口を見て御覽なさい。あたしの肩を見て御覽なさい。あたしの胸を見て御覽なさい。あたしの太股を見て御覽なさい。あたしを見て、別に何とも思はなくつて。あたしを美しいとは思はなくつて……』

そんな婆耆舍を誘惑しやうとする時の臺詞だけが、妙に胸をときめかせるやうに目に映つた。かの女はこれからは恍惚としたやうにいろ／＼のことを考へてゐたが、そのうち女中が歸つて來た。

『あのう、松本先生はまだお見えにならないさうです』

といつたので、始めて夢が覺めたやうにわれに返つた。

露子はそれから揚幕の方に廻つたり、大與柱の蔭から覗いたりして『長崎物語り』と『日の出前』を見てゐたがそのうち今度は自分の出なければならない『婆耆舍』だと思ふと、急に氣が付いたやうに『日の出前』の幕を半分見殘して、大急ぎで部屋に歸つた。そして直に『婆耆舍』に出る印度の少女の扮裝に取つた。

と、もうすつかり顔の粧りをしてしまつて、衣裳を着終つた時分だつた『日の出前』の幕が切れたので、どか／＼廊下を通る足音がしたかと思ふと、間もなく京子が坑夫の扮裝のまゝで入つて

ドイツ政府、突如 國際聯盟を脫退す
同時に一般軍縮會議からも 全歐洲に大衝動

（ベルリン十四日發國通）獨逸政府は十四日突如國際聯盟を脫退、同時に一般國際軍縮會議からも脫退した

獨逸國會を解散 國論は贊否を問ふ

（ベルリン十四日發國通）獨逸政府は十四日特別大統領令を以て國會の解散を斷行した總選擧は十一月一日に決定、即ち聯盟脫退を基調とするヒツトラーパーペン政府の內治外交政策につき國論に贊否の機會を與へ國民總意の支持を求めんとするものである

權威無き二等國で 參加し得ない ヒツトラー首相宣言

（ベルリン十四日發國通）ヒツトラー首相は十四日午後聯盟脫退に就き獨逸國民に告ぐるの宣言書を發表した、右宣言書の要旨左の如し

各國政府は一九三二年十一月十一日ドイツに對し軍備均等の原則を承認し其結果ドイツ政府は再び一般國際軍縮會議に參加する用意ある事を

『言明』したのだが爾後各國政府はドイツに對して實質的軍備の均等を認める事を故意に拒否した、其結果ドイツ國民並にドイツ政府は曾て見ざる屈辱を蒙るに至つたのである他國政府の公式代表は公開の席上に於ける演說で且つドイツ外相並にドイツ代表に對する直接の聲明に於て現在のドイツに對しては最早斯る軍備均等を强要することが出來ないと言明したのである、斯る行動はドイツ國民に對する許すべからざる屈辱的差別

『待遇』に他ならないドイツ政府は此事實に鑑み權威無き二等國としてこれ以上軍備交涉に參加するを得ない、ドイツ政府は更に聯盟より脫退することを玆に宣言する、ドイツ國民は擧國一致國威尊重の念に基く政府今回の決定を支持せんことを希望する

聯盟は曩に滿洲問題に關し不當なる干涉を試みんとして失敗したのであるが今又歐洲に於て最重要なる佛獨關係の調整に失敗する以上愈々聯盟の使命を喪失したことを意味し其存在價値を危まれることにならう最近ヨーロッパの

『諸國』はドイツを中心として國際關係の變調を來さんとする傾向が顯著であつたが、今回の脫退は其一つの具體的表現である然し之が爲ヨーロッパに戰爭或は動亂が惹起する等の急激なる變調は起るまいが今後の國際關係が徐々に危險化するものと觀られる

國際關係が徐々に危險化 わが外務省當局談

（東京十五日發國通）獨逸の聯盟並に一般軍縮會議より突如脫退を聲明したことに關し我外務省は十四日夜當局談の形式を以て左の如く發表した

外務省には未だ何等の公電に接して居ない最近の一般軍縮會議に於ける獨逸對フランスの關係より觀るに或は獨逸が軍備制限に關する

『不滿』から聯盟及軍縮會議の脫退を決行するに至る事はあり得る事と觀察された獨逸國民は元來非常な活動力を有する國民であるから、ベルサイユ條約による拘束を肯ぜず、現狀を打破せんと努めたのである、斯る國民的要求はヒツトラーのナチス政權を確立せしめナチスの運動は斯る環境に於て自然に生れたものである、其第一主眼は軍備平等權だが之等主眼として軍備の平等權を認められたが最近軍備に對する監督問題がフランス側から

『提議』されたが獨逸は歐洲大戰後一度課せられた軍備監督制度の復活に極力反對し本問題を中心に事每に獨佛間に抗爭熾烈となり今回の事態惹起に急轉直下したのではないかと思はれて居る

吉田軍務局長 朝田大尉招致

（東京十四日發國通）海軍省軍務局長吉田少將は朝田大尉を十四日午前十時十五分軍務局に招いて、若槻總裁との會見顛末を聽取した

銀行團あす來京

昨年滿洲國建國公債發行の際これが募集に關し大いに盡力せる日本シンヂケート銀行團一行八名、滿鐵側隨行者三名は明十六日午後七時三十分新京驛着ヤマトホテルへ

樞府顧問官 伊東巳代治伯 側近者に辭意表明

（東京十四日發國通）樞府の重鎭として過去四十數年間に亘り憲法擁護の爲深刻な論議批判を試し來つた

『樞府』顧問官伊東巳代治伯は最近自己の健康上の爲と稱して全くその鋭鋒を收めてゐるが、殊に聯盟脫退後我國の立場が國際的に惡化し且つ明年度陸海軍豫算は兵備改善費、滿洲事變費、海軍第二次補充計畫等極めて多額に達してゐる現下の狀況が、ロンドン條約の際に於る樞府精査委員長として同條約を通過せしめた當面の責任者として當時濱口首相の言明たる「政府は軍部と協定して國民の負擔を輕減し得る事が出來る」との

『建前』と全く相容れぬ現況に鑑み、又伯の性格は全く今の樞府內外の事情と相容れざるものあり、爲に深く決意し昨夜某側近者に對して豫て抱懷せる顧問官辭職の意を洩した模樣である

若槻總裁の態度 全く輕率だ あすの再聲明は止めろ 樞府部內の意向

（東京十四日發國通）若槻總裁が名古屋に於ける黨有志懇談會席上ロンドン條約締結の經緯の發表を契機として政黨間に論爭惹起し世論も又同樣の傾向を呈する實狀に樞密院は事態の推移を憂慮して居るが樞府部內の意見を綜合するに大体左の如くである

若槻男はロンドン條約調印の責任者として最も愼重な態度を執るべきにかかはらず輕率な聲明を公表せるは時局柄遺憾に堪へぬ、殊に五、一五公判を機として世論も冷靜に還らんとして居り該條約の不備の缺陷是正に對する國民の認識も新らたならんとする情勢にある際再び國民の認識を混亂に導く樣な言動は努めて避くべきで十六日にやる再聲明はこの際中止するのが時節柄穩當の措置だ

討議範圍で 日英意見對立 難關の民間評議會

（シムラ十三日發國通）日英民間代表間には十二日より引續き頗りに私的折衝が續けられてゐるが、日英評議會の討議範圍を印度市場に限局しやうとする日本代表の主張と日本品未輸出の市場にも適用しやうとの英代表の見解が完全に對立し日英民間評議會も難局に直面するに至つた結果、討議範圍につき日英兩國代表間に意見が一致しない場合討議範圍を明確にせず、双方の主張を其まゝにして或る程度意相互の立場を諒解するに止める機運が漸次濃厚となつて來た

工業俱樂部に於ける 石井全權の演說

（東京十四日發國通）經濟聯盟外三團体主催に係る工業俱樂部內の石井、深井兩全權の歡迎午餐會席上石井全權は左の如き演說を爲した

出發の時滿洲で大業を遂げた後だから向ふへ行つたらさぞ攻擊されるだらうと思つて居たところ豫期に反して惡評も聞かず、却つて我實業家の經濟的侵略といふことだつた、最初ルーズヴエルト大統領から日本のゴム靴が多數出てゐるとの訴へを聞きマクドナルド首相も同樣の窮狀を訴へ、ゴム靴丈けなら問題がないが、他も同樣に經濟侵略をやつて居り、その勢は止め難いと考へ、日本商品の輸入禁止で對抗の外はないと決意した模樣であつた、それに就いて私は工業能率を喜ぶと同時に日本商品が賣れる反面に實業家の慎がそれ程溫かでないといふ事實を見逃がせぬ、將來は我國も是非共輸出を統制し販賣價格を一定して外國業者の立場を重んじ、他方自分の懷ろを溫めるに努めねばならぬと痛感した

商工省官吏 實業部入り

（大連十四日發國通）今回滿洲國政府に招聘されて實業部入りをする事となつた商工省若手官吏、伊藤、石阪、奈良原、山本、椎名の五氏は十四日午前八時入港の「うすりい」丸で着連直ちに北行した

日滿支三國間の 政治的交涉本筋か 北支整理委員會召集を機に 岡村副長北平へ

（北平十四日發國通）黃郛は日滿支三國關係を調査する目的の下に李鐸一を日本へ殷同を滿洲國へ派遣すると共に來る十八日停戰協定後に於ける第一次の政務整理委員會を召集し懸案の日支、滿支問題及財政問題並に舊東北軍の移駐問題等の重要案件を附議するに決し宋哲元、于學忠、韓復榘、傅作義等の各省政府首席に對して夫々招電を發した、時あたかも有吉公使の北上を控へ又關東軍參謀副長岡村少將も近く來平の豫定になつて居り愈よ日滿支三國の政治交涉も本筋に入るものと觀測されて居る

佐枝部隊に呼應し 中央軍も展開

（北平十四日發國通）支那中央軍は蠻子營古柳樹林附近の地區に展開佐枝部隊に呼應する準備全く成つた、一方公安隊一部も順義方面から前進し遂次方吉軍の退路を遮斷しつゝあり右に依り方吉軍の運命は玆兩三日の中に迫つたものと見られてゐる

方吉軍 退要求 佐枝部隊前進開始

（北平十四日發國通）方吉軍一合軍約一千は停戰協定線に沿ひて白河地域に移動を開始し十三日午後渡林莊附近に集結中で、我關東軍佐枝部隊は今日夕刻懷柔、牛欄山より前進を起し、方吉軍に停戰協定線外撤退を要求し若し之に從はずば斷然奈陸相呼應して之を膺懲すべく既に各部隊の展開を開始した

北鐵を繞る 三國間の紛糾 英國方面の見解

（ロンドン十三日發國通）北鐵を繞る日滿ソ三國間の紛糾に關しロンドンの各新聞紙は未だ社說欄でこれを取扱つてはゐないが、右に關する電報は

『連日』紙上に大々的に掲載されて一般の注目を惹いてゐる、殊に極東に關心を有する方面ではその成行を極めて重視して居り大体左の如き見解を述べてゐる

日本が北滿鐵道を無價値ならしめるため鐵道沿線に於て極力匪賊其他を使嗾してゐるとのソヴィエートの報道は六月二十六日同鐵道の賣却交涉が開催されて以來目立つて多くなつて來た、一方ソヴィエート側では去る三月以前にソ領內に引込んだ車輛を未だに返還しない狀態であるが、日本が又別にソ聯との

『外交』關係を斷絕しやうとは思はれない、而しソ聯との紛爭は日本に陸海軍の軍部內閣の形成を促進する可能件がある

五相會議の結果は 基礎的材料に 齋藤首相官邸で語る

（東京十四日發國通）齋藤首相は十四日葉山別莊に赴くに先立ち首相官邸で五相會議に就き左の如く語つた

五相會議に就いて世間では色々喧かましく傳へられて居るがそう六ケ敷しい會議ではなく從來こうした會議は幾らも例のあることである

『五相』會議の豫定としては幾日までに終ると云ふ考へはないが、來る十六日の會議で出來るなら話合をつけて特別大演習前に大體目鼻をつけたいと考へて居る而しこれをどうするかと云ふ會議ではないから互に胸襟を開いて意見を交換して充分意思の疎通を圖る積りである從つて若しもこの會議に目鼻がつかなくとも大演習後の豫算編成に取りかかる前になんとかなるだらうと思ふ、會議の內容は國防、外交及財政等の

『問題』ばかりでなく色々之に關連して各般に亘り意見が出て居る、勿論豫算とは直接の關係を持つては居らぬが、今の所四大臣の掌管事項に關連したことだけだから別に外の大臣等に出て貰ふ考へは持つて居らぬ又方向が定まつて居る問題であれば主管大臣だけで話合へば良いのだが、こんな會議を開かないでも交にも國防、財政にも關係があるので五相會議を開く樣になつたのである、軍部大臣と大藏外交兩大臣との間に何か意見の對立があると言ふ樣に傳へられて居るがそんな事はない、しばしば顏を合せては居るが特殊な事に就ては未だ話合ひがしてないので長引くのは當然である、六ケ敷しい問題と云へば專ろ明年度の豫算編成で何しろ財源が無いのだから餘程各省との折衝は困難とならう、豫算の問題は今後五相會議で出るかどうかは解らぬが五相會議の結果國是とか或ひは國策が決定されると云ふわけではないが基礎的材料となることは間違ひない

新穀の出廻り 昨年度より凡そ二割方 增收豫想で期待

（大連十四日發國通）洮昂、齊克兩沿線に於ける本年度の新穀出廻り狀況は八月二十五日の拉哈の小麥を皮切りとして克山の小麥六十八噸、拉哈小麥七十噸、泰安小麥二噸、古城小麥三噸、富海小麥一噸の如き出廻りを見るに至つたが本年度に於ける新穀は天候その他の關係により前年度に比し約二十パーセントの增收が豫想されて居るので出廻り期には相當期待がかけられて居る

四平街 傳染病發生狀況

四平街に於ける本年度四月以降の傳染病患者の發生狀況をみるに昨年に比し赤痢一七腸チブス五ヂフテリー二の增加を示して居るが右は大七月頃の急激氣候の變化で日に二三人づゝの患者を出した爲めである、尙ほ十月十四日現在の各種傳染病患者數は百十一名で昨年十月十四日現在患者數に比し一二名の減少である

ソ聯からセメント 三萬噸の注文 浦鹽一帶の要塞築造材料に 成行き重大視さる

（大阪十四日發國通）去る三日東京丸の內ビル內淺野セメント會社內にソ聯東京駐在事務官がセメント約三萬噸を注文したので同社は之を直ちに輸出專門の大阪支店へ右注文を回付した事實あるを東京憲兵隊で內情調査した結果、右のセメントは浦鹽、ウスリーカ面一帶に築造中の問題の要塞の建設材料に使用の目的であり且つ今迄我國より輸出したセメントの大部分も之等に使はれた證據を突きとめたので成行重大視され狀態の如何では三井、三菱、淺野セメント會社へ輸出中止を警告する模樣である

人事往來

▲故久泉隆氏遺骨（元黑龍江省木蘭縣參事官）十四日午後四時卅分發內地へ
▲岸井少將（大連在鄕軍人分會長）十五日午前七時來京
▲坂西利八郎氏（貴族院議員）十五日午前九時發奉天へ
▲德永博士（滿蒙資源學術調査團長）同上

團体

▲日本國民高等學生三十二名十五日午前一時四十分哈市へ
▲平壤中範學校生十一名十五日午後一時來京十六日午前十一時三十分南行
▲山口縣小學校長團七名十五日午後六時五十五分來京
▲靜岡縣滿鮮視察團十三名十六日午前六時來京同八時四十分哈市へ十七日午後三時廿五分歸京

皆さんの煖房の御用意はいかゞ？

快晴に恵まれて忽ち素晴しい人氣
わが社主催の第二回煖房展 けふ愈よ蓋あけ

明待せられた本社主催第二回煖房具展覽會は豫定の如く準備萬端十二分に成り十五日早朝開場せられた、前日の雨天も今日は開會を祝福するかの如く一點の雲もなく晴れ渡つてさい先きよく果然定刻早くも觀覽者殺到、素晴らしい景氣である各々特徴を誇る各種ストーヴは會場内に其のスマートな姿を列し販賣業者出品人は觀覽者購入希望者に對し詳細なる技術使用法等に亘り叮嚀詳細なる說明懇切を極むる事とて如何なるストーブが徳用かにつき種々數多きストーブより何等迷はず自由容易に選定し得る事とて觀衆はいづれも大喜び因に出品者及ストーブ種類左の如し

本溪湖ストーブ　寶洋行
ニツトーストーブ　昌和洋行
村上式ストーブ　水上洋行
ナショナルストーブ　入船工作所
エイコウストーブ　泰和洋行
電氣ストーブ　南滿電氣新京支店
瓦斯ストーブ　南滿瓦斯新京支店
センターストーブ　仁和洋行
國神ストーブ　泰利號
フクロクストーブ　熊平商行
コクシンストーブ　東華洋行
タイハンストーブ　飯村商店
ビクターストーブ　品川洋行
ハッピーストーブ　大本商行
センオーストーブ × センロクストーブ　福昌公司
エーヤーストーブ　天野商店

けふ蓋あけの煖房展
—會場正面—ひる開會前うつす—

トラック轉覆
乘車中の二名重輕傷 けふ驛前廣場和泉町入口で

十五日午前十一時二十分ごろ關東軍警備司令部の軍需輸送貨物自動車に軍需品を滿載し落川一等兵が中央通から和泉町に向け運轉中驛前廣場和泉町入口に差懸つた際突然洋車が飛出したゝめこれを避けんとしてハンドルを左に切るや自動車は一大音響とゝもに轉覆し乘車中の劉通譯は頭部に重傷萩津正夫一等兵は輕傷を負ひ、直に衛戍病院に收容した原因は目下新京憲兵隊で取調中である

ダイヤ改正を前に 夜間着陸設備 大連飛行場で急ぐ

【大連十四日發國通】日本航空輸送會社では日滿間旅客郵便物の激增に鑑み、來る十一月より東京、大阪間の夜間飛行を實施して旅客の便を圖る事となり、十一月のダイヤ改正期より大連着旅客機は毎日午後四時到着に變更された、右の結果天候其他の關係より延着して夜となる事も豫想されるので、大連飛行場に夜間着陸設備を施すべく遞信局に認可申請中であつたが要塞司令部の許可も得たので十一月より使用すべく設備を急ぐ事となつた

三笠町の朝火事 原因は漏電

十五日午前六時四十五分ごろ市內三笠町五丁目百川醫院の天井裏から出火、急報に接し新京消防隊が現場にかけつけ消火に努めたゝめ同家を半燒し同七時四十五分鎭火した原因は漏電と判明した、損害は目下取調中である

兩脚に二萬圓の女來滿

【大連十四日發國通】兩脚に二萬圓の傷害保險を付けた女、東京ユニオンダンスホールのダンサー米田貞子さんは十四日入港のうすりい丸の一等船室に收つて來連した、米田さんは今度ダンサーより足を洗つて東京ホテルを經營するのだが、「息ぬきにきた」と語り市內ホテルのダンサー數人に迎へられ上陸した

貨物競技成績

去る九月二十七日より施行中であつた新京鐵道事務所管內の貨物競技會成績は十五日左の如く確定した
一等　貨場方　關高爾（新京驛）
二等　同　滿正二郎（四平街驛）
三等　同　肥後清（新京驛）

青訓教練査閲
けふ西公園で行ふ 多數關係者參觀で賑ふ

昭和八年度青年訓練所教練査閲は既報の如く十五日午前七時半から西公園グラウンドで浦山大尉によつて行はれた、これよりさき前日狀況報告及書類の點檢があつた十五日の査閲開始前國旗掲揚式、集合『遙拜』を行つて直ちに整列服裝檢査續いて各個教練密集教練（小隊）疎開教練、體操及競技、陣中勤務（傳令步哨及斥候）距離測量、目測步測旗信號、射撃豫行演習、閱兵分列とプログラム順に行はれ終りの軍事講話では福本指導員の「國家觀念を明徴にす、獻身奉仕精神を振作す」との題で講話あり國旗降下、君が代合唱、緊張裡に教練を終り補習學校事務所で『管理』者、主事、指導員、商業學校配屬將校山ノ內少佐立會で所見の講評があり十一時三十分終了、成績良好であつた、なほ當日は管理者代理山內地方事務所長代理、山田少佐、東商業學校長、四戸在鄕軍人分會長、岩崎同副會長、各區長、池田青訓主任、三浦警部、五味地方委員、奉天訓練所教官等の參觀があつた

姿を消した枕下の虎の子 目が覺めて吃驚 ボーイの仕業と判明

市內三笠町三丁目さくら食堂雇女玉井タヨ子さんが十四日午後三時ごろ病氣のため現金八十圓在中の蟇口を枕下にしいて就寢したが目が覺めて見ると蟇口がなく盜難にかゝつたことを知り直に新京署に屆出た同署で搜査の結果同家ボーイの尾松一郎（一五）假名の所爲と判明し搜査中午後十一時新京發列車に乘車したことを突止め警乘員に手配をなし孟家屯驛で逮捕した

愈明十六日夜から 飛行隊曉の偵察 ファストナショナルの名映畫 長春座で上場する

問題の映畫曉の偵察は愈々明十六日夜から長春座で上場される、曉の偵察は近代戰爭が生んだ悲劇の赤裸々な內幕曝露である

一つの大きな國は救ひの手を青年のすべてにさしのべざるを得なくなつた愛國の心に燃え、輝くばかり血氣にはやる彼等青年は訓練を積んだ敵軍の戰士との戰鬪に、絕望と知りつゝも誇らかに卒先して飛び込むのであつた

昨日は三つ、今日は四つ徒らに愛國のつばさを敵の矢玉に射拔かれて、永久に歸らぬ友を數へつゝ

『夜も』晝も、血を流し、肉を削る凄慘なる戰ひを續けねばならなかつた英國第五十九飛行中隊の實に淚ぐましき哀れな悲運、それぞれを何等の誇張もなく、深刻に赤裸々に明確に剔抉して觀るものゝ淚を絞る、そして又死刑執行人とさへ叫ばれながら、經驗なき若き飛行將校を墓場の如き戰場に送らねばならなかつた皮肉な運命を、戰ひを、若き中隊長は呪つた、然し、そこには犯し難い『軍律』がある、絕對の服從がある、そして國家がある

吁、戰爭の脅威に打ちのめされんとする人類の苦悶と憎惡の係らざる姿爆發せる血は遂に怒つて復讐へと狂奔する獨逸飛行隊根據地の全滅、蜿々長蛇の如く數十里にわたる鐵道を疾驅する軍用列車の潰滅、宏大完璧を誇る軍需品製造工場の爆發、壯烈火花を散らす悲壯なる空中戰は卷を追ふて、愈々白熱化し愈々迫眞さを加へて思はず我等を狂喜せしむ、然して此破天荒の緊卷は未だ映畫が其題材となす能はざりし題材を選び出して近代戰爭が生んだ悲劇を如實に描寫して側々と我等の肺肝をえぐる、この映畫曉の偵察製作のために一番重要な地位を占めたものが五人、その五人とは他の四十一名の飛行士を率ひ最も危險な場面撮影のため冒險飛行を敢行する飛行士であつた

その五人は何れも四千時間以上の飛行經驗のある『一流』の飛行家で幾多の場面で膽を冷す冒險飛行の腕前を見せてゐる十二卷もので

添へものとして發聲喜劇映畫「お化騷動」と同じく「旅行」ならびにアールケーオー特作トーキー映畫「移りゆく魂」等があり何れも一見に値するものぞろひで入場料は大衆向に大人八十錢均一、軍人學生は半額小人は二十錢、二日目十七日は神嘗祭で休日なので晝間も上場することゝなつてゐる

滿洲炭鑛會社 いよいよ正式認可
滿鐵の三炭坑も合同するか 近く正式に創立

【大連十四日發國通】日滿合辦滿洲炭鑛株式會社は今春その機運があり拓務省へ認可申請をなしてから正式許可迄半歲以上を經過『此間』幾多迂餘曲折が重ねられたが十四日滿鐵本社に對し認可通知書が到着した、新京の同社設立事務所では會社設立に關する一切の準備を整へ滿洲國との諸折衝も進み、近く創立總會と同時に會社設立を見る豫定である、右は設立目標たる

一、滿洲國內石炭資源の經濟的開發
一、炭鑛業者の不用の競爭防止
一、單價の合理的低下
一、炭種別に適用個所を分離する

と云ふ四原則の下に滿洲國內主要炭鑛（當初の原案から撫順、煙臺、本溪湖を除く）を統制するものであるが『當初』の案から右滿鐵三炭鑛を除外せる爲將來該炭鑛との生產販賣調節及び之に伴ふ販賣擴張當社を如何にすべきかの問題が起るが、最近當初案復活說が傳へられ滿鐵三炭鑛が將來合同する場合は生產販賣問題も自ら解決されると謂である

日滿合辦會社要綱

【大連十四日發國通】正式認可を得た滿洲炭鑛會社要綱左の如し
名稱は滿洲炭鑛株式會社とし、本店を新京に置く、資本金一千六百萬圓
△內譯
滿洲國政府六百八十萬圓の現物
中央銀行百二十萬圓の現物
滿鐵八百萬圓の現物、三百萬圓の現金支出

街の日記

神嘗祭遙拜 新京神社で

十七日は神宮神嘗祭にあたるので新京神社では同日午前十時から神宮神嘗祭遙拜式を行ふ、拜殿內遙拜場へ一同參列祓式、遙拜詞奏上、玉串奉奠一揖、退出の順で式は行はれる

商業校の兎狩

商業學校の年中行事の一つである兎狩りを今年も來る二十四、五日頃行ふはず、全校生徒、職員總出で伊通河方面に出かけるがさぞかし多大の收穫を得るであらう

神明高女同窓會支部設置の集ひ

在新京大連神明高等女學校同窓會第一回總會は十五日午前十一時から新京高等女學校階上會議室で催され、新京支部設置に關して協議をしたが現在で三十九、六名の同窓生を有し新京支部を設けて今後繼續して例會を開き同窓生の親睦を圖らうといふので當日出席者は船山晴子さん、武安茶子さん其の他十七名で午後三時散會した

居住消息

▲龍野常盛氏（宮崎縣人）台灣から千鳥町陸軍官舍四十一號へ
▲眞川孝二郎氏（和歌山縣人會社員）大連から日出町六丁目一番地へ
▲岸久藏氏（富山縣人）四平街から永樂町一丁目六番地へ
▲尾上誠三郎氏（宮崎縣人協和會書記）朝日通七十一番地同和會へ
▲前田正寬氏（鹿兒島縣人撫林業）撫順から曙町四丁目十一番地へ
▲波治敏郎氏（北海道人漁業）三笠町四丁目三十三番地本田支店へ

轉居

▲江田正次氏錦町三丁目七二番地から永樂町一丁目九番地ノ二へ
▲中村新氏錦町三丁目七ノ二から永樂町一丁目九番地ノ二へ
▲清水勤氏（宮崎縣人關護事務所員）三笠町一丁目十四番地から朝日通七十一番地へ

會と催し

▲十四日午後二時半新發屯消防所上棟式
▲十四日午後四時朝日新聞社新京支社上棟式
▲十六日午前關東軍司令部定礎式
▲十六日午後二時から中央銀行宿舍（大林組）上棟式
▲十六日午後四時半から大和通派出所落成式

料亭橘— 早くも大繁昌

市內三笠町元料亭美人座跡を引受け金にあかして現代風な改善を加へ內地よりの一流藝妓の情味豐かなサービスを看板に十三日より開業した料亭橘は早くも客足を一手に集め大賑ひを呈してゐるしつとりと落着いた清楚な四疊半に漂ふ新しい木の香を滿喫して情緒溢るゝ盃をかたむけ秋の夜ながを樂しむには最適所だらう

六對三で法政勝つ 早法二回戰

【東京十四日發電通】早大對法政二回戰は十四日午後二時より法政先攻で開始され、結局六對三で法政勝つ

法政　000031020—6
早大　000000210—3

稅關吏として滿洲國で招聘 中村氏ら一行着任

【大連十四日發國通】滿洲國稅關吏として招聘された大阪稅關中村大助氏外六名、神戸稅關八島好敏氏外六名、其他各稅關より選ばれた五名は十四日入港の「うすりい」丸で着任した

ラヂオ

放送番組十月十六日　新京放送局
午後五、〇〇　小供の時間
同　五、三〇　ニュース（英）
同　五、四〇　ニュース（露）
同　五、五〇　ニュース（鮮）
同　六、〇〇　ニュース（日、京より）
同　六、二〇　語學講座（滿洲語）高宮盛逸
同　六、四〇　同（日本語）植松金枝
同　七、〇〇　演藝（滿）
同　七、三〇　講演（同）滿洲國參議袁金鎧（滿語）
同　八、〇〇　ニュース（滿）
同　八、三〇　時報（東京より）
同　八、三一　ニュース（日、東京より）
同　八、四五　氣象通報（日）
同　九、〇〇　講演演藝

慶安異聞 艶魔地獄

（舞臺上演 映畫化）　玉水三郎　（繪）長谷川小信

（六十六）

第一の復讐（二）

唐犬權兵衞は、新鳥越の我家に、自分達の住居と兒分の部屋との間に廣い庭があるのを幸ひ、其庭を奇麗に片附けさせて、復讐の場所をしつらへた後、兒分一同を集めて、嚴重に言渡した。

「手前達、決して今日是からやる事を世間へ言つちやアならねえぞ、又どんな事があつても、手出しなんかしちやならねえ。默つて見物してゐるんだぞ」

何事か判らないが、親分の命は能く守る彼等のことだから、

「へイ畏まりやした」

「それから手前達の中で、自家の表へ五人、裏へ五人廻つて、乃公がもう可しッと言はねえ中は、誰が來ても家の中へ入れる事はならねえぞ」

「へイ畏まりやした」

「又家の内の者も、どんな用事が出來ても、乃公が可しッと言はねえ中は、決して外出はならねえぞ」

「へイ畏まりやした」

常にない權兵衞の嚴しい申し附け。是から何れも其言ふ通りにして、何事が起るのかと待つてゐる。

やがて腰附きの相川忠太夫を、庭の眞ん中に牽き出させると、唐犬はハッタと睨んだ。

「ヤイ忠太夫、今改めて言つて聞かせる。昨夜白状した通り、手前はお菊が殺されるやうな企みをしたんだ。手前は手を下ろさなくつても、謂はゞ主人に殺させたんだ。手前が手を下したも同然なんだ……ヤイ何うだ」

忠太夫は悄然としてゐる。權兵衞の言ふ所に相違ないから、逃ろなく、

「マア早く申せば、そんな事でござらうテ」

「遠く言つたつて同じ事だ。就ては手前の命は貰ふぞ」

「ア、一權兵衞殿、爪印口書きまで取つた上は、何も命までも取られるには及ぶまい」

「エイッ卑怯な事を吐かすな。人一人殺させて置いて、生てゐやうと思ふのか」

「イヤ拙者の生命を取るなぞとは、あまりに酷い……」

「何が酷いのだ。だが忠太夫、唯命は取らねえ。姉の敵、妻の仇、母の仇として三人の者が汝の命を貰ふのだ」

「ギエーッ」

「何も驚く事はねえ。大淀は姉の仇だ。小島三平は妻の仇だ。其仲の子十松は母の仇だ。さア三方から嬲ばりで、命を取られるを身の響と思つて死にやアがれ」

「唐犬殿、復讐とあらば、双方得物を以て尋常に勝敗を決するのが天下の常法でござらう。此儀は如何でござる」

「ウフッフ、、フ、理屈だけは言ふな。イヤ勿論だ。繩を解いて腰の物は返してやる。三人對手に尋常の勝負をしろ」

「コレは有難い」

繩を兒分が解き捨てる、脇刀をも忠太夫へ渡して與れた。

途端に小島三平とお入董の大淀甲斐々々しき扮裝で、何れも姉、妻の敵と名乘つて躍り出た。

五歳の十松は、權兵衞が抱いて右手の方へ向つた。

忠太夫も今は必死で、

「小癪な婦人、返り討に致すから覺悟しろ」

何れも抜きつれて白刄を交へたのだが、三平の鋭き切尖に鍛し爲た忠太夫、右手の方に權兵衞がゐるから、左の方へ逃れんと、卑怯にも走り出した。

ところが其處には久米の平内が仁王立に頑張つてゐる。

十月十六日 月曜　舊八月廿七日　乙卯　佛滅　執　張宿

●一白の人　他の迷惑を思はず利己に走りて信を失ふ　乙と丙と庚が吉

●二黒の人　元氣を出せば出す程成績を擧げ得る幸運日　庚と辛と寅が吉

●三碧の人　疇氣となりて手落を生ずる日自重するが吉　丙と申と寅が吉

●四緑の人　何事も擲け過ぎて跡の始末の附きかねる日　申と癸と寅が吉

●五黄の人　寛仁大度を持して萬事に臨むべし幸慶あり　亥と壬と寅が吉

●六白の人　障碍ありとも其に撓まず徐々と進むべき日　丙と庚と亥が吉

●七赤の人　小事と雖も閑却すべからず將來の基礎固めん　丁と辛と戌が吉

●八白の人　人に齎せし事が偶然に身の爲となるべき日　辛と壬と癸が吉

●九紫の人　掌中の玉も何時しか抜け出す如き注意の日　已と壬と寅が吉